

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体と機能（生体と薬-病を治す）				学期	曜日	校時
英語名	Basic Human Physiology（Living System and Drugs）				前期 後期	月曜日 木曜日	4校時 2校時
担当 教官名	丹羽正美 他	単位数	2単位	必修 選択			
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>モルヒネの詳しい薬効が、既に紀元前9世紀から8世紀のホメロスの「オデッセイア」にペンテ「静かな心地よさと幸福感、そして安らかな満ち足りた眠気と睡眠」と記載されている。</p> <p>長い歴史を持つ薬の人類の科学の進歩における重要性を学ぶとともに、生体の機能と薬の相互関係、日常の嗜好品、麻薬、覚醒剤などの危険性についての理解も深める。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
教科書は用いず、授業計画にそって、プリント資料・スライド・液晶モニターで講義する。参考文献は適宜紹介する。							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	課題レポート、平素の学修成績、出席状況等を考慮して行う。						
授 業 計 画							
<p>第1回 薬の誕生</p> <p>第2回 薬の使用目的と適用</p> <p>第3回 薬の効果に影響を及ぼす要因</p> <p>第4回 薬の体内動態</p> <p>第5回 妊娠と薬</p> <p>第6回 脳と薬I</p> <p>第7回 脳と薬II</p> <p>第8回 生体と嗜好品</p> <p>第9回 薬の乱用</p> <p>第10回 感染症と薬</p> <p>第11回 癌と薬</p> <p>第12回 ホルモンと薬</p> <p>第13回 生活習慣病と薬</p> <p>第14回 薬の有害作用</p>							